

2020年4月1日から
2021年3月31日まで

2020年度
事業計画・収支予算書



公益財団法人 **ベネッセこども基金**

2020年度 事業計画書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2019年度は、2018年度からの3か年計画の2年目。活動の普及・展開のフェーズとしてまた5年目の節目として広報活動を積極的に行った。加えて、3か年計画通りに新しい助成プランを実行し、自主事業を次の段階へ進めるための取り組みを積み上げた。

概ね計画を達成。ただし、自主事業の展開は、検討が必要。

2020年度は、民間財団としての中間支援的な立ち位置であるベネッセこども基金の強みが生きるように、自主事業、助成事業の果たす役割を明確にし、それにそった活動に集中させていく年。

また、活動内容の発信による広報をさらに強化する年。

I : 2020年度の重点テーマ

1. 【助成事業】団体の掘り起こし、団体とのつながり強化

- 新しい団体の掘り起こしのために、各助成ともに、これまでの総括を踏まえた目標を明確にして、それにそった助成運営
- 短期的には、告知到達と認知アップによる各助成の申請数、新規申請団体数アップ

2. 【安全】広報媒体として、告知普及の中心に

- 行政、PTA 向けの普及ツール開発
- 保護者など一般の人々がベネッセこども基金に初めて出会うものとして、防災（就学前）防犯（小低）情報モラル（小高）に続く安全コンテンツの開発

3. 【広報】 ベネッセこども基金の認知度アップ

- 新しいこども基金サイトを軸としたブランディング化
- ベネッセコーポレーション社員の協力度アップによる認知アップ

II : 重点テーマの概要

1. 【助成事業】団体の掘り起こし、団体とのつながり強化

「全体」

支援団体発掘のため、こちらから団体に出向き、つながりを作る活動を強化する。

・助成事業実施の各工程で、団体との関係が強化でき、各団体の活動に寄与できる施策を実行する。

「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 4,700 万円）

2018 年度、2019 年度選考の複数年助成の実行を最大 3 年間で自立的な継続・発展ができるように伴走していく。そのための交流会や団体運営支援、活動内容の実査、継続審査を 2019 年度実施した仕組みに基づき実行 2020 年度選考もつつがなく行う。

「被災した子どもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

2019 年度より、緊急支援に特化した災害支援助成を継続。運用基盤の一部変更をスムーズに実行する。

年度開始時点での募集要項の公開／サイトでの発信。

公募→受付→審査→結果発信などのフローの浸透。

「重い病気を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

継続テーマの実行。全体企画に基づき、活動団体とのつながりを強化の良い形を積み上げる。

2. 【安全】広報媒体として、告知普及の中心に

新たな普及方法のトライアルを実施し、5 年計画目標である安全コンテンツシェア 20%を達成する。また、子どもから保護者への波及を促進させる施策を通して、コンテンツ浸透度およびベネッセこども基金認知度の向上を目指す。

「防犯・スマホ」

現在も一定数の申込みがある自治体や PTA 向けの普及ツールを開拓し、効率的な認知の拡大および継続的にコンテンツをお申込みいただけるような関係性を築く

- ・教員研修の実施など、特に地方の市教育委員会へ告知
- ・保護者が目にする媒体への告知

「紙芝居」

認知度や浸透度上げるための有効なツールの開発と確認

- ・ex.園で配布して、子どもから保護者に、企画意図が伝えられるもの

「新コンテンツ研究」

子どもを取り巻く生活環境の変化や近年多発している自然災害など、子ども

3. 【広報】ベネッセこども基金の認知度アップ

「外部発信のチャネル複数化」

- ・アウトリーチ助成説明会 目標：計画的に3地域で実施
- ・オンライン助成説明会 Youtube ライブで説明会配信

「寄附元社員とのコラボイベント」

- ・NPO などとの交流イベントを行い、寄附元社員内の活動の認知度を上げ（目標70%）、このリソースによる認知を拡大する

「エンゲージメント率向上」

- ・サイトの記事発信強化の仕組み化やライター複数体制の整備などによりサイトを活性化し、E 率アップ⇒ブランド調査の認知数値アップ（目標5%）

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【病気・障がいの自主事業と領域整理】

- ・ 継続事業である院内学級プロジェクトは、遠隔授業モデルのパッケージ化、地域での定着を目指し、助成団体などとも協業しながら活動。シンポジウムで成果を発信も検討する。
- ・ 「重い病気や障がい」のとくに障がいの領域は広く、課題も多様であるため、多くの団体と出会い、関わるべき領域を見直す。

【経済自主事業の方向性】

- ・ 「助成から見つけた共通課題」の解決というコンセプトは良いが、実行の枠組みは再検討が必要である。2020年度はそれを見出すための1年とする。
- ・ 以下の継続事業は①③は成果共有をして終了。②は継続して共有できる形とする。
 - ① 支援人材の育成 [ユースソーシャルワークみやぎ]
 - ② 学びの質の向上 [NPO 法人 Learning for All] [NPO 法人キッズド

ア]

③ 社会発信/アドボカシー

[NPO 法人さいたまユースサポートネット・ NPO 法人 Learning for All]

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべての子どもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。2020 年度の予定は以下 3 件。*すべて継続テーマ

① パラリンピック教材 I'mPOSSIBLE の普及

対象：小学生、中学生、高校生

連携：日本財団パラスポーツサポートセンター/日本パラスポーツ委員会

② 「親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト」の共同実施

対象：就学前（幼稚園・保育園）

連携：認定 NPO 法人グッドネーバーズジャパン

③ 高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施

対象：高校生

連携：全国高校生英語ディベート連盟（HEnDA）・国際委員会

IV. 会議体スケジュール（予定）

	日時	主な議案
第 1 回理事会	5 月中旬頃 決議の省略（みなし決議）	・ 2019 年度事業報告・決算 ・ 評議員会の開催
第 1 回評議員会	6 月 17 日(水) 10:00～11:00	・ 2019 年度事業報告・決算
第 2 回理事会	6 月 17 日(水) 11:00～12:00	・ 「重い病気」助成募集要項 ・ 代表理事活動報告
第 3 回理事会	11 月 13 日(金) 10:00～12:00	・ 「重い病気」助成団体 ・ 「経済」助成募集要項 ・ 代表理事活動報告
第 4 回理事会	3 月 12 日(金) 10:00～12:00	・ 2021 年度事業計画/予算 ・ 「経済」助成団体 ・ 代表理事活動報告

VI. 予算

2020年度 公益財団法人ベネッセこども基金					
収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)					
2020年4月1日から2021年3月31日まで					
(単位:千円)					
科 目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2019年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	152,479	20,000	172,479	155,581	16,898
受取寄付金	5,730	0	5,730	5,730	0
受取寄付金振替額	146,749	20,000	166,749	149,851	16,898
雑収益	2	0	2	898	▲ 896
受取利息	2	0	2	2	0
雑収益	0	0	0	896	▲ 896
経常収益計	152,481	20,000	172,481	156,479	16,002
(2) 経常費用					
事業費	152,481	0	152,481	136,479	16,002
原稿料	1,348		1,348	410	938
監修費	420		420	470	▲ 50
法定福利費	3,797		3,797	3,290	507
給料手当	23,731		23,731	20,350	3,381
旅費交通費	3,730		3,730	2,860	870
通信運搬費	1,765		1,765	1,340	425
消耗品費	600		600	150	450
修繕費	0		0	0	0
印刷製本費	9,780		9,780	13,680	▲ 3,900
賃借料	7,530		7,530	7,530	0
保険料	10		10	0	10
諸謝金	1,218		1,218	610	608
支払負担金	6,330		6,330	8,660	▲ 2,330
支払助成金	67,000		67,000	49,470	17,530
委託費	13,364		13,364	12,780	584
ソフトウェア償却費	266		266	1,179	▲ 913
その他事業費	0		0	0	0
普及宣伝費	3,650		3,650	2,870	780
渉外費	393		393	440	▲ 47
制作費	3,685		3,685	7,990	▲ 4,305
報酬	2,320		2,320	1,790	530
会議費	1,423		1,423	490	933
支払手数料	0		0	0	0
新聞図書費	121		121	120	1
管理費	0	19,162	19,162	20,151	▲ 989
報酬		700	700	770	▲ 70
給料手当		5,932	5,932	5,650	282
会議費		200	200	200	0
旅費交通費		120	120	310	▲ 190
通信運搬費		300	300	70	230
消耗品費		200	200	200	0
新聞図書費		120	120	120	0
印刷製本費		510	510	510	0
光熱水料費		172	172	170	2
賃借料		1,428	1,428	1,540	▲ 112
保険料		5	5	0	5
諸謝金		60	60	150	▲ 90
租税公課		1	1	0	1
支払負担金		80	80	70	10
雑費		200	200	190	10
法定福利費		949	949	760	189
普及宣伝費		800	800	40	760
渉外費		20	20	20	0
支払手数料		330	330	350	▲ 20
委託費		5,585	5,585	5,160	425
制作費		1,000	1,000	3,070	▲ 2,070
ソフトウェア償却費		450	450	801	▲ 351
経常費用計	152,481	19,162	171,643	156,630	15,013
当期経常増減額	0	838	838	▲ 151	989
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	838	838	▲ 151	989
当期一般正味財産増減額	0	838	838	▲ 151	989
一般正味財産期首残高	6,661	47,184	53,845	53,996	▲ 151
一般正味財産期末残高	6,661	48,022	54,683	53,845	838
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
一般正味財産への振替額	▲ 146,749	▲ 20,000	▲ 166,749	▲ 149,851	▲ 16,898
一般正味財産への振替額	▲ 146,749	▲ 20,000	▲ 166,749	▲ 149,851	▲ 16,898
当期指定正味財産増減額	▲ 16,749	0	▲ 16,749	149	▲ 16,898
指定正味財産期首残高	334,537	0	334,537	334,388	149
指定正味財産期末残高	317,788	0	317,788	334,537	▲ 16,749
III 正味財産期末残高	324,449	48,022	372,471	388,382	▲ 15,911

VII. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2020年4月1日から2021年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。